

都市再生整備計画(第3回変更)

かまくらえきしゅうへん
鎌倉駅周辺地区

かながわ 神奈川県 かまくら 鎌倉市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	鎌倉市	地区名	鎌倉駅周辺地区	面積	720 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

目標

大目標:豊かな歴史的遺産と身近な山並み、青い海などの良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の顔づくりを市民との協働による再創造の更なる推進を図る。

目標1:駅周辺において、観光客をはじめとした来訪者を温かくもてなす快適な環境整備を図る。

目標2:駅から主要観光スポット・公共施設までの改善を実施し、市民及び来訪者が安全で安心して歩ける歩行者空間の更なる改善を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

鎌倉市は、中世以降の歴史的遺産と豊かな自然環境に恵まれた歴史・文化都市であるとともに、国内外から年間約1900万人(平成20年)もの観光客が訪れる観光都市でもある。特に鎌倉駅周辺地区については、JR横須賀線・江ノ島電鉄線・バス路線等が乗り入れる交通結節点であり、市内でも最も観光客の多い鶴岡八幡宮をはじめとする豊富な観光資源が分布していることから、多くの市民や来訪者で賑わう古都鎌倉中心市街地の顔となっている。

こうした多数の来訪者に支えられ中心市街地の商業地は発展してきたが、観光客数は平成4年の年間約2,300万人をピークに年々減少してきており、古都中心市街地の産業の中心である商業・観光の活性化が、重要な課題として取り上げられるようになってきた。

さらには、人口の減少と少子・高齢化の進行、深刻な交通渋滞、古都鎌倉の風格の乏しい玄関口、点在する低未利用地の有効活用等の課題を抱えており、これらまちとしての魅力の低下の危機意識の中から、古都中心市街地の総合的なまちづくりの必要性が高まってきた。

このような環境の中で、鎌倉市では第3次鎌倉市総合計画(平成8年4月)において、古都中心市街地における市街地整備構想の策定を実施計画事業として位置づけ、これに基づき平成8年度から具体的にその推進を図るための構想づくりを開始した。優れた歴史的遺産や歴史的風土と融合・調和した、うるおいとやすらぎのある高い資質をもった市街地環境の創出を目指し、

- ・古都中心部の再生・創出
- ・風格ある歴史的都市美観の創造
- ・歴史的環境と調和した商業・観光基盤の充実

を目標として、平成10年3月に地元町内会、商店会、公共的団体、公募市民、学識経験者並びに行政で構成する「古都中心市街地まちづくり協議会」を設置し、平成12年8月に「古都中心市街地まちづくり構想」を取りまとめた。その構想を踏まえ、まちづくり交付金(鎌倉駅周辺地区)第1期事業として平成17年度から21年度までを計画期間とし、鎌倉駅周辺を対象区域とし、「質の高い駅周辺都市空間の再整備」、「安全で安心して歩ける歩行者空間の改善」及び「観光客をはじめとした来訪者を温かくもてなす快適な環境整備」を目標に、あんぜん安心、バリアフリー、景観に配慮した道路事やトイレ、公園等の整備を行なってきた。

課題

第1期のまちづくり交付金事業により、歴史・文化都市鎌倉の玄関口にふさわしい様々な整備を図ってきたが、次のような未解決の課題が残っている。

- ・歩行者が安全で安心して歩ける道路については、財政状況の悪化等により一部区間のみの整備となったため、引き続き未整備部分の事業実施が必要である。
- ・古都鎌倉の顔づくりとなる鎌倉駅西口周辺地区については、今後も関係者と協議を継続し、事業を実施する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

優れた歴史的遺産や歴史的風土と融合・調和した、うるおいとやすらぎのある高い資質をもった歴史的市街地環境の創出をめざす。
 「世界の歴史都市にふさわしい風格と風光にあふれるまちをめざす」「豊かな自然と固有の文化を守り、育み、活かすまちをめざす」「安全に過ごせる住環境と、安心して暮らせるコミュニティのまちをめざす」
 「賑わいとふれあいを大切にする活気に満ちたまちをめざす」「来訪者をあたたかく迎え、心地よく送り出すまちをめざす」

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		目標値	
			従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光客の満足度	%	観光客アンケートにおける鎌倉観光の満足度	74	H20	80	H26
安全・安心な歩行者空間に関する満足度	%	市民意識調査における道路交通環境に関する満足度	13	H20	17	H26
良好な都市景観形成に関する満足度	%	市民意識調査における都市景観に関する満足度	52	H20	54	H26

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>①駅周辺、主要観光スポット周辺において、来訪者をもてなす快適な環境整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要公共施設、観光スポットまでのまち美化活動等をすすめる、公共トイレのバリアフリー化及びユニバーサルデザイン化と悪臭対策に取り組み、また、シルバーボランティアガイドを充実させることにより、観光客をはじめとする来訪者の快適な環境改善を図る。 ・鶴岡八幡宮への観光客の主要動線である小町通りの電線類の地中化事業を実施し、歩行者環境の改善及び景観に配慮したまち並みを形成していく。 ・JR鎌倉駅から徒歩5分に位置する由比ガ浜商店街は、観光客流動のポテンシャルが高いため、安全で快適な歩行空間・ショッピングモールづくりと、昔からの街並みを大切にしながら、魅力的な店舗づくりを行い集客力を高めていく。 ・観光客をはじめとする来訪者のためのゆったりとした待ち合わせ場所、歩行者通行スペースの確保、ミニバス・タクシー一般車乗降場の設置等、古都鎌倉の玄関口にふさわしい質の高い駅前広場を再編する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市道032-000号線(小町通り)他(鎌倉市)【基幹事業:道路】 ・市道032-000号線(小町通り)(鎌倉市)【基幹事業:高質空間形成施設】 ・公共トイレ整備事業(鎌倉市)【基幹事業:高質空間形成施設】 ・鎌倉由比ガ浜商店街活性化事業(商店街振興組合)【関連事業】 ・鎌倉アダプトプログラム(ボランティア団体)【関連事業】 ・鎌倉シルバーボランティアガイド事業(ボランティア団体)【関連事業】 ・鎌倉駅西口周辺地区整備推進事業(鎌倉市)【関連事業】 ・優良建築物等整備事業(民間)【関連事業】 ・市道027-000号線(市役所通り)(鎌倉市)【関連事業】 ・公衆トイレユニバーサルデザイン化事業(鎌倉市)【提案事業:地域創造支援事業】
<p>②高齢者・障害者はもちろん、来訪者・生活者の誰もが安全で安心して歩ける快適な歩行者空間の改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんしん歩行エリア内の多くの来訪者・市民の利用する道路について、鎌倉の地域特性である狭小な道路幅員の中で工夫を行い、歩行者空間の環境改善を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市道032-000号線(小町通り)他(鎌倉市)【基幹事業:道路】 ・市道027-000号線(市役所通り)(鎌倉市)【基幹事業:道路】 ・市道001-059号線(鎌倉警察署北側道路)(鎌倉市)【基幹事業:道路】 ・市道212-023号線(風致保存会前)(鎌倉市)【基幹事業:道路】 ・市道001-059号線(郵便局南側道路)(鎌倉市)【基幹事業:道路】 ・市道008-000号線(今小路通り)(鎌倉市)【基幹事業:道路】 ・市道032-000号線(小町通り)(鎌倉市)【基幹事業:高質空間形成施設】 ・鎌倉駅西口周辺地区整備推進事業(鎌倉市)【関連事業】 ・優良建築物等整備事業(民間)【関連事業】 ・市道027-000号線(市役所通り)(鎌倉市)【関連事業】 ・鎌倉由比ガ浜商店街活性化事業(商店街振興組合)【関連事業】 ・鎌倉アダプトプログラム(ボランティア団体)【関連事業】 ・鎌倉シルバーボランティアガイド事業(ボランティア団体)【関連事業】
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間中の計画管理 <ul style="list-style-type: none"> ・交付期間内の円滑な事業実施をすすめるとともに、庁内横断的な組織による事業間の調整を図り、社会情勢等の変化に対応した本計画の見直しを行い市民に周知する。 ・円滑な事業の執行のため、交付期間中はモニタリングを行なう予定である。 ・平成10年3月に「古都中心市街地まちづくり協議会」を設置し、市民参画でまちづくりをすすめてきた。まちづくり交付期間中も継続して実施する予定である。 	

都市再生整備計画の区域

鎌倉駅周辺地区(神奈川県鎌倉市)	面積 720 ha	区域 御成町、小町、佐助、扇ガ谷、由比ガ浜、、長谷、材木座、雪ノ下の一部、西御門の一部、二階堂の一部、浄明寺の一部、大町の一部、坂ノ下の一部、梶原の一部、山ノ内の一部
------------------	--------------	--

